

じている。松浦市においても担当者による試行錯誤の努力により令和3年度において11億円を達成する実績を上げている。今回の2市町に追随するこの結果は、評価に値するものであると思う。

今回の視察を終えての感想として、2点考えられる。一つ目はふるさと納税に取り組むチーム構成のあり方である。佐世保市は、行政、物産協会、サポート企業が1拠点に事務所を集約し、三位一体となり取り組んでいる様子がうかがえた。また、波佐見町においては、業務委託先である(株)スチームシップへの完全委託での取り組みとなっている。二つ目は、返礼品のあり方である。佐世保市は、加工品を中心に幅広い分野で返礼品を充実させている。波佐見町においては、窯業の町である特徴を生かし、波佐見焼に特化している。いずれも返礼品ありきではなく、「町に興味を持ってもらえるブランディング戦略」を取っている。今回の2市町の取り組みは、いずれも松浦市にとって大変参考になるものではないだろうか。引き続き調査を継続し提言へとつなげていきたい。



(株)スチームシップ担当者と波佐見町議場にて



波佐見町

継続審査中の本市におけるふるさと納税の現状について、4月13日に担当課より取組体制や手続きなどの流れについて説明を受けました。併せて、今後の委員会の取り組みについて協議を行い、他の自治体の現状を知るための行政調査および市内関係事業者から意見集約を行うこととしました。

5月12日に、ふるさと納税の取り組みについて、佐世保市と波佐見町へ行政調査を行い、本市にとって大変参考になる情報を得ることができました。

【総務委員会】

その他各委員会の活動



佐世保市

引き続き調査を行い、ふるさと納税に関する効果的な提言へつなげることをしています。

【鷹島海底遺跡保存活用特別委員会】

5月10日および5月27日に委員会を開催し、議会と市との意識共有を目的として、理事者から鷹島海底遺跡に係るこれまでの取り組みや現況、令和4年度の事業計画などについて説明を受け、今後の委員会活動について協議を行いました。委員からは、松浦市歴史観光推進協議会との連携や国・県への要望活動を積極的に行うことなどの意見が出され、委員会として取り組むことにしました。その上で、6月6日に松浦市歴史観光推進協議会が長崎県知事に対して実施した鷹島神崎遺跡の保存と活用についての要望活動に同行し、意見交換を行いました。

今後も行政と民間と連携しながら、本特別委員会の活動を進めていきたいと考えています。

